

平成23年度 市長と語る会 (肥田町)

日 時 11月1日 19:30~20:50

場 所 肥田公民館ホール

<事前質問及び回答>

質問	【IT教室の再開について】 セラトピア土岐において一昨年末まで開催していたIT教室が国体開催等を契機に中止になった。何とか再開できるような施策を講じていただきたい。
回答	セラトピア土岐にある市民ITセンターは、市民の情報化を推進するため、国の補助を受け平成16年度に整備した。その後、情報化が進み、IT講習会については民間事業者でも同様の講座があることなどから再開の予定はない。ITセンターのスペースについては、現状ある機器を最大限利用できるようにしたいと考えている。
質問	【図書館建設について】 図書館の建物自体も老朽化しており、読書に関しても電子化が進む現代では、近代的な図書館が市民の間からも望まれている。新たな図書館の建設を検討していただきたい。
回答	新たな図書館の建設については、平成22年度に耐震補強工事を実施していることから難しい状況である。当面は施設の建設といったハード面での整備ではなく、蔵書の充実といったソフト面での整備を進めていきたい。
質問	【陶史の森～セラテクノ付近の公園について】 陶史の森とセラテクノ付近を結ぶところに市外、県外からも来場者があるような公園を整備してはどうか。
回答	ご指摘の箇所については、市が半分ほど所有しているが、残りは民間の方の所有になるため、一体的な整備は難しいと考える。当面は陶史の森を適切に管理・整備していきたいと考えている。
質問	【防災について】① 東海・東南海大地震等が近いうちに発生すると言われている。また、近年の集中豪雨、ゲリラ豪雨等に対する市の取り組みについて、市長として今後の予防策、被災時の対応などについて考えを伺いたい。
回答	地震や集中豪雨といった天災の発生を無くすことはできないため、大きな災害の際は、まず避難をお願いしたい。自分の命は自分で、地域のことは地域でが大切になる。市の役割は、いかに地域の防災力を高めるかということと、必要な情報を提供していくかであると考えている。また、避難場所や防災倉庫などの点検・整備を行い、被災時の対応を充実していきたいと考えている。
質問	【防災について】② 通学路等の安全性を確保する上での障害や避難勧告等の情報伝達、避難場所の設定について伺いたい。
回答	通学路については、PTAや学校を中心に地域の状況や安全を確認のうえ設定している。災害の際には各学校において、教師による通学路の安全確認を行ったうえで、下校等の指示を出すこととしている。また、警報発令時には保護者の送迎による下校を徹底させていただく。いずれにせよ、現場での情報把握を徹底し、対応させていただく。
質問	【防災について】③ 9月20日の災害時、肥田地域の避難場所はなぜ肥田町内ではなく、遠い泉小学校となったのか。災害発生時に安全で速やかに避難できる地域内の避難場所を要望する。
回答	台風15号の際の避難場所について、避難場所を泉小学校としたのは、事前に泉地区で避難勧告が出ており、避難所の準備ができていたことや人員にも限りがあることから、新たに肥田地区に避難所を開設するよりも適切であると判断したためである。

質問	<p>【経済の活性化について】</p> <p>地場産業の停滞をどのように食い止め、どのように活性化していく予定であるのか。また、他産業をどのように取り入れていくのか。雇用の確保や陶磁器産業と共存、共生していくつもりなのか考えを伺いたい。</p> <p>近未来の土岐市の理想について伺いたい。</p>
回答	<p>地場産業の停滞は国内のシェア等の問題、外国製品との競争などが原因として考えられる。今後は業界の方との意見を交えて方策を決めていきたい。陶磁器産業に関しては陶磁器試験場に一番費用を投入しているため、試験場の活用方法が今後の課題となる。他産業との共存については、敵対するのではなく相乗効果が得られるような取り組みをしていきたいと考えている。新たな立地企業に対しては、従業員が市内に住んでいただけるような取り組みを行い、市の発展につなげていきたいと考えている。今後も土岐市の立地の良さを活かして企業誘致を進めていきたい。</p>
質問	<p>【弓取橋～下肥田の市道について】</p> <p>幅員が狭く、通学路にもなっているが、車との対面通行であり、児童生徒の交通事故等の防止対策（速度規制・横断表示・専用歩道等）をお願いしたい。また、弓取橋は老朽化しており、肥田川の氾濫や地震災害時により橋が損壊し、道路が遮断され連絡道路や通学路が確保できなくなる恐れがあるため、歩道付きで橋の架け替えを要望する。</p>
回答	<p>専用歩道等の整備については、道路の現道幅もなく、用地等の問題もあるため難しい。事故防止対策（速度規制、横断歩道など）については、岐阜県公安委員会の判断になるが、現状では難しいとの回答であった。弓取橋については橋梁長寿命化修繕計画に沿って補修、耐震補強を計画しているが、架け替えとなると膨大な費用もかかるため、検討課題とさせていただく。</p>
質問	<p>【子どもの遊べる遊具の管理について】</p> <p>下肥田地域には、第1公民館と第2公民館広場に遊具が設置されているが、遊具の安全管理はどのように管理されているか。また、幼児が遊べるよう遊具を新設していただきたい。</p>
回答	<p>児童公園については児童課が窓口となり、年に1回遊具の安全点検と老朽化した遊具の撤去を行っている。新たな遊具の設置については、遊具の設置基準が見直され、安全率を見込むため基準が大変厳しくなっており、過去には公園の隅に設置できていた遊具が、新たに設置するとなると公園の真ん中にしか設置できない可能性もある。それらを踏まえ、遊具が必要ということであれば、設置要望を出していただければ、予算の範囲内で対応させていただく。</p>
質問	<p>【市民バス肥田線の運行について】</p> <p>市民バスの利用対象者は主に高齢者と思われるが、肥田町からは土岐市駅までの便がなく、総合病院に行くには乗り換えが必要となるため、乗り換えなしで総合病院に行けるようにならないか。また、週1回となっているところを、週2回程度に増便していただきたい。</p>
回答	<p>総合病院への乗り換えについては、現在総合病院へは民営バスが乗り入れているため、市民バスと路線バスの役割分担からも、路線の開設は難しい状況である。増便については、利用状況をみながら、需要が見込まれる路線であれば、市民バスの運行本数の見直しを進めさせていただく。いずれにしても、限られた財源の中で実施する事業であることから、必要最低限の交通手段であることをご理解いただきたい。</p>

<事前質問についての意見>

意見	<p>避難場所について、上肥田地区では老朽化した避難場所しかなく、耐震性等に不安がある。また、他の避難場所へ行くにしても増水などで行けない可能性もあるため見直しをお願いしたい。</p>
回答	<p>地震や集中豪雨など災害ごとに避難場所を設定するなど、今後市の防災計画を見直しすることを考えている。</p>
意見	<p>弓取橋から下肥田間の市道について、通学時には車の通行量も多い。専用歩道などは用地などのこともあり難しいと思われるため、市内他町で行われているカラー舗装など検討していただきたい。</p>

回答	現在市内で通学路の安全対策としてカラー舗装を進めている。要望を出していただければ検討させていただくので提案をお願いしたい。
意見	子どもを連れて遊びにいけるような公園がなく、遊具もない。瑞浪市の和合地区には多くの公園があるが、将来を担う子どものためにもある程度の投資をお願いしたい。
回答	公園は区画整理事業に伴い整備されるものが多く、瑞浪市の例や土岐市でも区画整理を行った泉や土岐津地区に公園が多くある。公園が偏在していることは問題と考えており、何とかしていききたいと考えている。遊具については順次整備していききたい。
意見	陶器だけのまちづくりには限界があるため、新たに「花」を用いたまちおこしを検討し、多くの方に来ていただけるようなまちづくりを進めてはどうか。また、高根地区には企業誘致できるような土地があるが、活用できないか。
回答	花の名所については検討できると思われるので考えていききたい。企業誘致をしていく中で懸案となるのが、手間や時間のかかる環境アセスである。最近立地が進んでいるのは開発のしやすい鉾山跡地等が多く、新たに開発を行うことは少なくなってきたが、企業のニーズに合わせて対応したケースもあり、今後そういったニーズがあれば検討したい。

<自由意見>

意見	先日アクアシルヴァで操業を始めたアマダの従業員は多くが市外からの通勤者であり、マイクロバスで土岐市駅から送迎をされていると聞く。通勤等により駅前に多くの人が来ることになるため、それを活かしてはどうか。企業誘致により土岐市に活気が出ると思うので今後も積極的に進めていただきたい。
回答	朝の通勤時間帯で名古屋からの下りの本数が少なく、操業時間をずらしているとの話も聞いている。利用客数が減少している現状では難しいが、今後のリニアの整備等に併せてJR等に対して要望していく。
意見	リニアの駅が中津川市にできることとなるが、土岐市が費用負担するメリットはあるのか。
回答	リニアが開通するのは16年後になる。駅のおおよその位置が決定する前から東濃全体で話を進めてきた経緯もあるため、急にやめるわけにもいかない。土岐市としてはリニアを活用できるような基盤整備等を進めていく上でも、ある程度の費用負担は必要になる。
意見	陶史の森には多くの来訪者があり、駅からウォーキングで訪れる方もいるが、歩道がなく危険である。子どもも遠足で行くところであり整備をお願いしたい。
回答	ご指摘の箇所は危険であると認識しており、優先度も高いと考える。予算等の問題もあるが、市道のできるどころから検討していききたい。
意見	本日の資料について、説明と市長の私見を伺いたい。 ①実質公債費比率が平成19年度に大幅に下がっているが、今後の見通しはどのようになるか。 ②市民一人あたりの市債残高について、中津川市や恵那市が突出しているが、合併の影響なのか。 ③人口千人あたりの職員数が多いが、内訳等はどうなっているか。 ④市民一人あたりのゴミの排出量が減ってきているが、その要因に対する市長の見解は如何様か。
回答	今後の財政の方向性については、何も事業を行わなければ財政は健全になるかもしれないが、まちは良くならない。民間が参入しやすいような、希望が持てるような基盤整備は行っていく必要があると考えている。 ①実質公債費比率が平成19年度に大幅に下がったのは算出方法の変更によるもので、実質的な公債費負担は変わっていない。 ②中津川市や恵那市などは合併特例債により市債残高が増加している。 ③土岐市はゴミやし尿の収集、保育所など直営施設が多いため、職員数が多くなっている。 ④ゴミ排出量については減少してきているが、他市と比較すると多いため、今後何らかの対応が必要ではないかと考える。

意見	最近によく「市民協働」という言葉を耳にするが、「地域のことは地域で行う」ことも協働の一つであると考え。今後協働を進めるにあたり、市民が行政に要望するような一方的な状態を改善していくための市民教育や周知なども必要であると考え、市の具体的な方針等について伺いたい。
回答	協働を進めていく上で最も大切なことは、行政と市民の話合いであり、行政と市民の役割分担など話合いで決めていくことが協働の本来のあり方であると考え。「協働」という言葉は最近頻繁に使われるようになってきたが、以前から行われてきている。例えば、行政はゴミの収集、地域（市民）はゴミ集積所の管理といった役割分担も協働の一つである。今後はより多くの方面で市民と行政の役割分担による協働を進めていきたいと考えている。
町内会長	市長にはこれからの土岐市のためにリーダーシップを発揮していただき、少しでも住み良いまちにしていっていただきたい。また、市民からもそれに対する意見を出し、一体となってまちづくりを進めていきたい。